

フィールドワークⅡ（2010）

1 テーマ

日本の地域から地球社会を見る

2 授業内容

東京に比較的近い地域と東京から遠い地域とを選び、それぞれがどんな問題を抱えているかを比較しながら、日本社会の現状とそれが地球社会とどのようにつながっているかを考えていく。日本のなかで「地球的に考え、それぞれの地域で行動する」とはどういうことかを考える。

3 授業予定

夏休み前の授業では、現地の状況、調査の目的と内容、全体のテーマと個別のテーマ、などについて考え、調査票をつくる。現地調査は原則として夏休み中。夏休み後の授業では、調査内容を検討しあって報告書をつくる。

4 授業方法

最初に調査のねらいを説明するので、現地の状況、調査の仕方などについて、自主的に議論を進めながら、調査の内容を決めていく。調査中も得たものをお互いに確かめ合うために議論を続ける。調査終了後は成果を発表しあい、まとめ方について議論して報告書をつくる。

5 評価方法

授業への出席、現地調査への参加、および分担した課題についての発表と討論参加が60%、報告書への貢献が40%、で評価する。

6 教科書・参考書

教科書：『共生社会の文化戦略』（庄司興吉編著、梓出版社、ISBN4-87262-212-X）。

教科書：『市民性の変容と地域・社会問題』（青井和夫・高橋徹・庄司興吉編、梓出版社、ISBN4-87262-214-6）。

この授業については、庄司興吉のホームページ「市民の社会学をめざして
<http://www.kokshoji-globalcitizen.com/>」の「市民のための社会学」を毎週見て、必要な資料等をダウンロードすること。

1 0 0 4 1 4

概要の説明。

来週までに全員が研究調査の計画を作ってくる。

1 0 0 4 2 1

各自の作ってきた研究調査計画の検討。

次回の授業の方針を決める。

1 0 0 4 2 8

各自の研究調査計画がまだ十分でないため、テキストを読みながら計画づくりを進めることにする。

『共生社会の文化戦略』の「XII 地域社会の「計画行政」と言説戦略」を読み始める。報告は分担して準備してくるが、全員が最初から読んでくること。

1 0 0 5 1 2

テキストを読みながらの討論の続き。分担部分の準備と全員が読むことを忘れない。

各自研究調査計画づくりを進める。

1 0 0 5 1 9

テキストを読みながらの討論の続き。分担部分の準備と全員が読むことを忘れない。

そろそろの各自の研究調査計画を、発表しあえるようにまとめる。

1 0 0 5 2 6

各自の研究調査計画をとにかくひとまずまとめる。

次回に全員発表し、調整。現地調査以来を始める。

1 0 0 6 0 2

全員の研究調査計画の発表。

共同調査についてはスケジュールを決め、現地と連絡を取り始める。

各自の比較対象地の調査についても、方針を決め、連絡を取り始める。

1 0 0 6 0 9

「秋田と東京ではどちらが地球市民度が高いか？」というテーマを全員で考えてみる。

そのために、全員が次のことについての案を準備し、人数分コピーしてくる。

1 地球市民度とは？(自分なりの定義を考えてみる)

2 どういう考えをもっている人が地球市民度が高いといえるか？(ひとり5つ以上挙げてみる)

3 どういうことをしている人が地球市民度が高いといえるか？(ひとり5つ以上挙げてみる)

そのほか、各自の研究調査計画の調整。とくに、共同調査について。

1 0 0 6 1 6

各自の研究調査計画の調整。とくに、共同調査について。

1 0 0 6 2 3

各自の研究調査の下調べを進めておく。

1 0 0 6 3 0

各自の研究調査計画最新版とともに、秋田県、男鹿市、湯沢市にたいする質問項目を用意してくる。

日程を含めて共同調査のスケジュールの決定。

1 0 0 7 0 7

各自の研究調査計画最新版とともに、男鹿市、湯沢市にたいする質問項目を用意してくる。

日程を含めて共同調査のスケジュールを最終的に決定。

1 0 0 7 1 4

各自、秋田および比較対象地の研究調査をすすめる。

1 0 0 7 2 1

各自あらためて、研究調査計画最新版とともに、男鹿市、湯沢市にたいする研究調査項目を用意してくる。

日程・鉄道ルート・宿泊所などを含めて共同調査のスケジュールを最終的に決定。

1 0 1 0 0 6

秋田調査の記録を持ち寄り、相互に点検する。
報告書をどうつくるか、論議。

1 0 1 0 1 3

秋田調査の記録作り。学生主体。

1 0 1 0 2 0

秋田調査の記録作り。学生主体。

1 0 1 0 2 7

秋田調査の記録作り。学生主体。

1 0 1 1 1 0

秋田調査の記録作り。学生主体。そろそろまとめにかかる。

1 0 1 1 1 7

秋田調査の記録をまとめる。
来週は各自レポートの準備。
1 2 0 1 から各自レポート原案の報告と討論

1 0 1 2 0 1

各自レポート原案の報告と討論。
全員、できるかぎり詳しいレジュメを用意してくる。

1 0 1 2 0 8

各自レポートの内容を具体的につくっていく。

1 0 1 2 1 5

レポート作成作業の継続。

1 0 1 2 2 2

各自レポートできあがりの点検。
各自、自分の原稿を人数分コピーしてくる。

1 1 0 1 1 2

秋田調査記録と各自レポートの最終点検。
秋田調査記録は1 つにしたもののプリントしたものとファイルを持ってくる。
各自レポートは最終原稿のプリントアウトしたものとファイルを持ってくる。
庄司から秋田調査の面接対象者リストと資料リストを配る。

FW 報告原稿の最終確認。